令和２年度

事業者のためのごみ減量セミナー等支援業務
報告書

令和３年３月

株式会社 ダイナックス都市環境研究所
Dynax Urban Environment Research Inst.,Inc.

目次

1. 業務概要 1

（1） 目的 1

（2） 業務内容 1

2.業務実施内容 2

（6） セミナー内容 2

（7） セミナー実施結果 6

（8） アンケート実施結果 6

3.次年度業務内容への提案 12

（1） 開催形態について 12

（2） 取り上げるテーマ 12

4.参考資料 13

（1） 開催通知 13

（2） 講演資料 16

1. 業務概要

（1） 目的

港区内の事業者に「紙ごみ等の減量・リサイクル」に不可欠な知識やノウハウを提供し、紙類を中心とした各事業者のリサイクル意識の向上を図るとともに、自発的な“ごみ減量・リサイクル推進の仕組み作り”をサポートすることを目的とした「事業者のためのごみ減量セミナー（講演会）」を実施した。

（2） 業務内容

新型コロナウイルス感染症対策等を考慮し、発注者と協議の上で以下のようにオンラインセミナー形式で実施した。

タイトル	事業者のためのごみ減量セミナー
形式	事前収録した講演/施設見学動画をセミナー専用ウェブページ上で一定期間公開
公開期間	令和3年2月1日（月） ～ 令和3年2月 14 日（日）
公開内容	

登壇者	発表内容
武本かや氏	「ごみの減量に取り組むことのメリット」
株式会社 NTT ドコモ	「NTT ドコモにおける環境マネジメントシステムの取り組みについて」 「NTT ドコモ品川ビルにおける取組」（施設見学）
港区みなとリサイクル清掃事務所	「事業者の責務と区の施策」 「実務編」

2. 業務実施内容

【中略】

（6） セミナー内容

1）開会挨拶

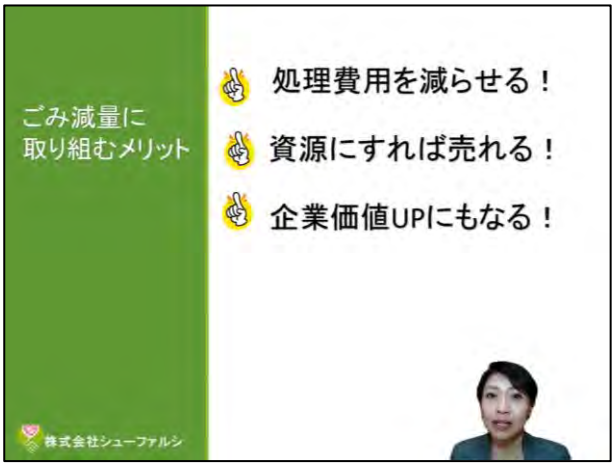
セミナー開催にあたり、港区みなとリサイクル清掃事務所の挨拶として以下の文章をセミナーページに掲載した。

> 港区主催のごみ減量セミナーをご視聴いただき、ありがとうございます。
>
> このセミナーは、事業者のごみの減量とリサイクルをテーマにした講演、ごみ減量優良事業者の具体的な取組、港区の施策や事業者への協力をお願いする内容となっています。
>
> ごみ減量優良事業者の株式会社NTTドコモ様の取組紹介の中では、施設見学会として、実際の作業現場を動画配信でご覧いただけます。
>
> 本セミナーを通じて、事業系ごみの減量、リサイクルが進んでいくことを祈念しております。
>
> 港区みなとリサイクル清掃事務所

2）　講演「ごみの減量に取り組むことのメリット」

株式会社シューファルシ

代表取締役　武本　かや　氏



【発表要旨】

- ごみの減量に取り組むメリットは3つある。処理費用を減らせること、資源にすれば売れること、企業価値をアップできること。
- ごみ減量には、ごみを出さない、ごみになるようなものを使わないという取組と、分別等で資源として再利用するような、ごみにしない取組がある。
- これまでごみの削減、リサイクルは CSR 的なものとして捉えられていたが、これからは社会課題の解決として捉えてほしい。SDGs、サーキュラー・エコノミー、地域循環共生圏など、資源循環に関する概念も多く出てきている。
- SDGs のゴールを意識することが企業価値の向上につながる。ESG 投資の増加や、グローバルなビジネスチャンスへの対応、人材確保という観点でも重要である。
- ごみの減量に取り組むだけで SDG12と17の達成に貢献できる。紙ごみを例に考えると、埋立処分場の寿命延長や処理に関する温室効果ガス削減、処分への税金削減などの課題や、木材大量伐採や大量の水使用、CO_2 吸着源減少などの課題がある。これらの課題を解決するために紙ごみの分別を行い、資源として循環させていく必要がある。
- 紙ごみを良質な資源に変えるためには種類ごとに排出する必要がある。
- 分別しやすい仕組みを作るには、どうやったら分けやすくなるかに注目してほしい。ポイントとして、写真と文字でパット見てわかりやすくすることと、注意書きを付して何が OK で何がだめかをわかりやすくすること。
- 機密文書はシュレッダーをするとリサイクルが難しくなるため、シュレッダーをかけずに専門業者に依頼することで情報漏えいを防ぎつつリサイクル率を上げることができる。
- 一生懸命分別した結果、どのようなアウトプットにつながっているかわからないとリサイクルへの意欲が落ちてしまう。どれだけの紙ごみを回収して、どれだけリサイクルしたかを見える化すると良い。
- DX や電子化への対応は、紙ごみを削減するとともに感染症対策にも効果がある。また、感染症についてマスクやペットボトル、ティッシュなどのごみの排出は、清掃員が触れずに適正に処理できるよう気をつけてほしい。

3）　事例報告「NTT ドコモにおける環境マネジメントシステムの取り組みについて」
施設見学「NTT ドコモ品川ビルにおける取組」

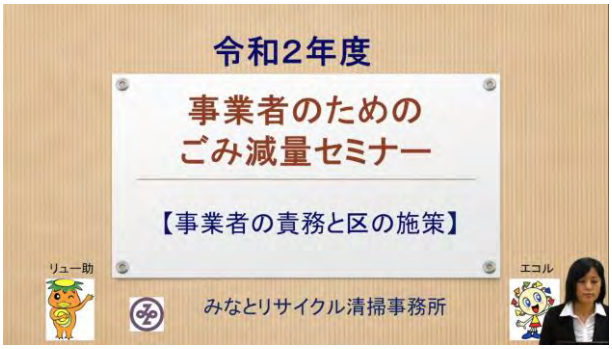
株式会社 NTT ドコモ / NTT ドコモ品川ビル

【発表要旨】

- ドコモグループでは「ドコモグループ地球環境憲章」に基づき、代表取締役をトップとして環境保全活動を進めており、環境マネジメントシステムを構築している。同憲章では顧客とともに社会全体の環境保全に貢献し、自らの事業活動における環境負荷を軽減することを基本理念としている。
- ドコモグループ各組織では、組織ごとの紙、ごみ、電機、水の使用量を各組織の担当（エコスタッフ）が毎月記入して環境データを管理しており、対前年度未満を目標に削減に取り組んでいる。集計した数値は社内イントラネット内で報告しており、全社員がいつでも確認できるようにしているほか、グラフデータなどにもまとめて簡単に見える化ができるような工夫も行っている。
- 実際にごみが発生するオフィス内での具体的な工夫としては、まず各階でごみを一極集中して集めるごみステーションを設け、そこで分別をわかりやすく見える化している点が挙げられる。分別品目ごとの具体的な内容を記載した掲示物と、それに関連づいたごみ箱等の排出容器の色分けや、ごみ箱自体の透明化を行うことで、いつ誰がごみ出しをしても適切に分別できるような工夫を行っている。容器に入らないダンボール類などは、排出者各自で袋詰めして排出するようにしている。紙類・雑誌等は三段ボックスを用いて分別をしており、段ごとに紙、雑誌、新聞チラシ類とで分別をしている。また、ペーパーレスが進んだことにより紙の排出量そのものも減少している。弁当容器の排出も専用の排出容器を設けており、食品残渣との分別も行っている。社員のデスク周りの個別のごみ箱は設置しておらず、ごみステーション内で管理することで効率を上げている。集められたごみは地下のごみ置き場に集約され、さらなる分別や資源の洗浄、圧縮等を行ったうえで適切に処理される。排出したごみは品目ごとに計量され、記録されている。
- その他の環境への取組として、ドコモグループでは携帯電話リサイクルによる貴金属の回収や、太陽光パネルなどを用いてクリーンエネルギーでまかなえる携帯電話の基地局建設（グリーン基地局）の建設を進めている。電気がない環境下や災害時にも対応できる基地局として機能しており、年間 2,000kw の電力生産と、通常の基地局と比べ 1,100 トンの CO_2 削減効果がある。その他にも、全国のドコモショップにおける袋を、プラスチックを一切使用しない紙袋に変更している。使用しているインクも環境に優しい水性インクへと変更している。

4）　事例報告「事業者の責務と区の施策」「実務編」

港区みなとリサイクル清掃事務所　許可指導担当



【発表要旨】

- 港区には企業オフィスや繁華街、観光スポットが多くあるが、事業所から出るごみも多量である。
- 法律や条例で、事業者は排出した廃棄物を適正に処理することが規定されているが、一方で「自己処理責任」という単語を知らない事業者も多く、事業者の主体的なごみの適正処理やさらなる意識向上が求められる。
- 事業者に対して廃棄物管理責任者の選任や再利用計画書の提出等の指導を行うとともに、新任の廃棄物管理責任者への講習会やセミナーの実施、優良取組事業者等の表彰を実施している。今後も引き続き指導等を実施するともに、テナントの主体的な取組促進なども行う。
- 区の事業系一般廃棄物の 7 割近くが紙類であり、その中でも「その他紙類」が最も多い。「その他紙類」は再利用率が40％弱と低く、「その他紙類」を可燃ごみにせず資源として再利用できるかが取り組みの鍵である。リサイクルできるその他紙類、いわゆるミックスペーパーの再利用のためには可燃ごみの容器に入れず、分別する必要がある。良好な分別環境を整えている事業所は、分別容器をスケルトンにしたり、入れる品目の写真を掲示したりするなど、何をどこに入れればいいかを明確にしている。
- テナントに対して分別を依頼することは関係上難しい部分もあるかもしれないが、容器設置や表示の工夫などの環境面を提案することも方法の1つである。
- 廃棄物処理の契約にあたっては、一般廃棄物、産業廃棄物とは別に再生資源物に関する契約を結んで頂くのが理想的であり、品目ごとに処理金額を設定することで処理単価を抑えることができる。また、定期的に契約を見直すことで、実際の排出実態を反映して適正な契約料金の担保につながる。

（7） セミナー実施結果

各セミナー動画の再生回数は以下の通り。

武本かや氏	250回
㈱NTT ドコモ	191回
みなとリサイクル清掃事務所	180回

申込み総数（232名）と比較して増減があるが、その理由として参加申込みをしたが視聴しなかった方や、複数回視聴した方がいることが考えられる。

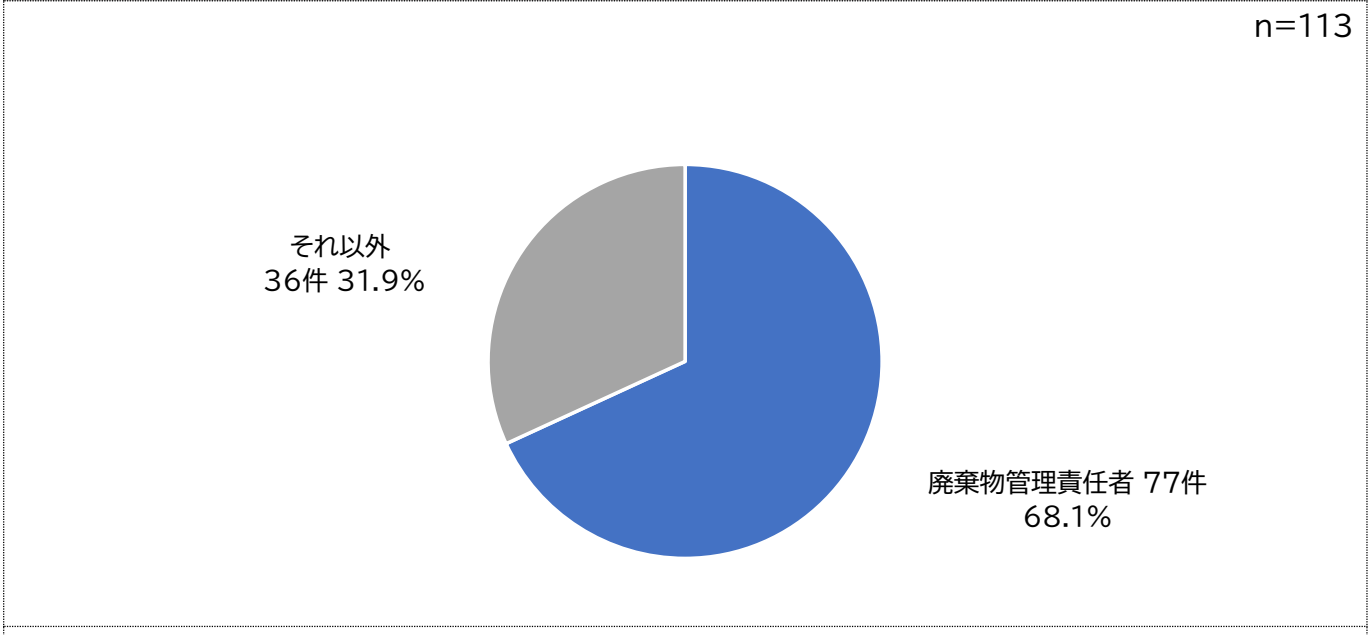
（8） アンケート実施結果

【アンケート概要】

回答数	113 人
アンケート回答率（回答数/申込み数）	48.7%

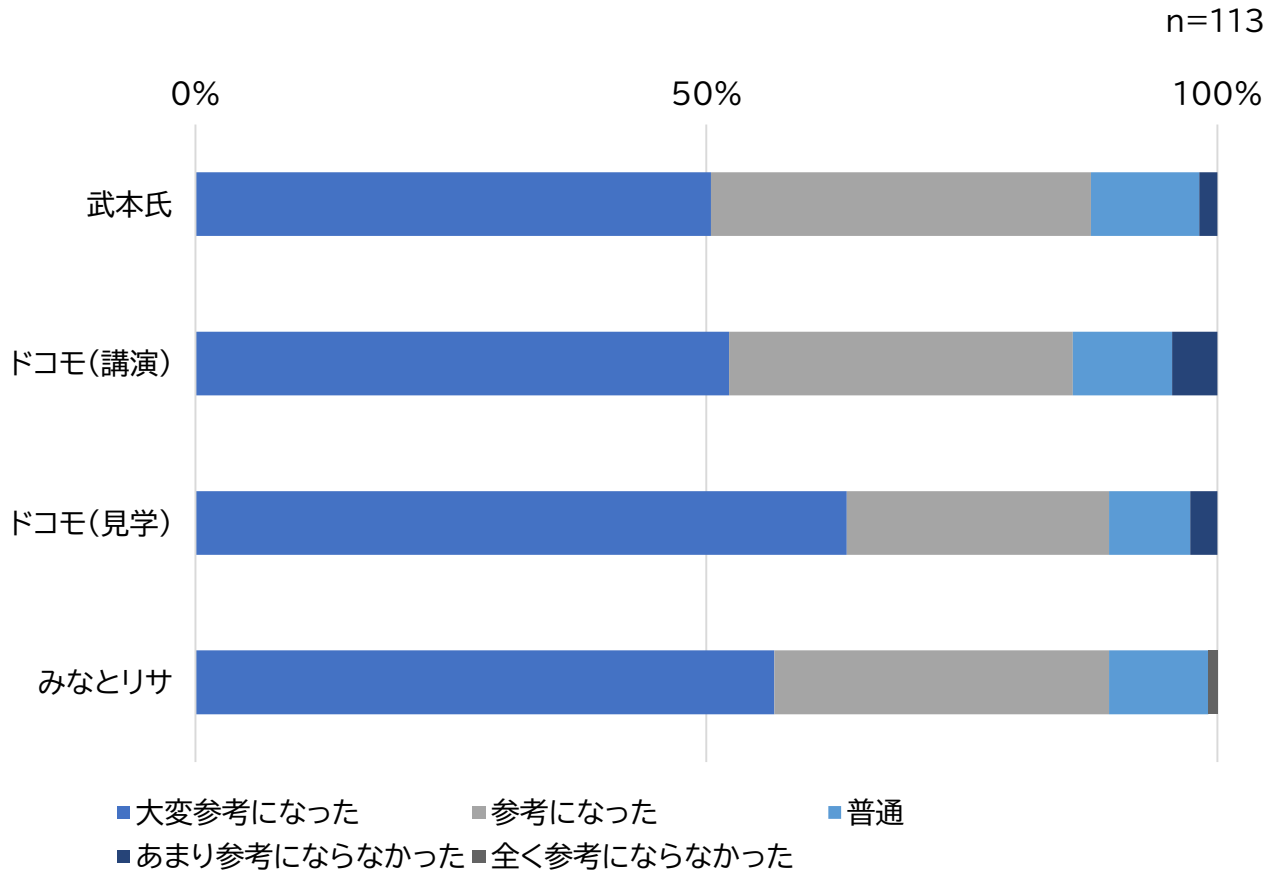
【アンケート結果】

（1）受講者情報



受講者のうち、廃棄物管理責任者が全体の7割近くを占めている。

(2)各コンテンツの満足度

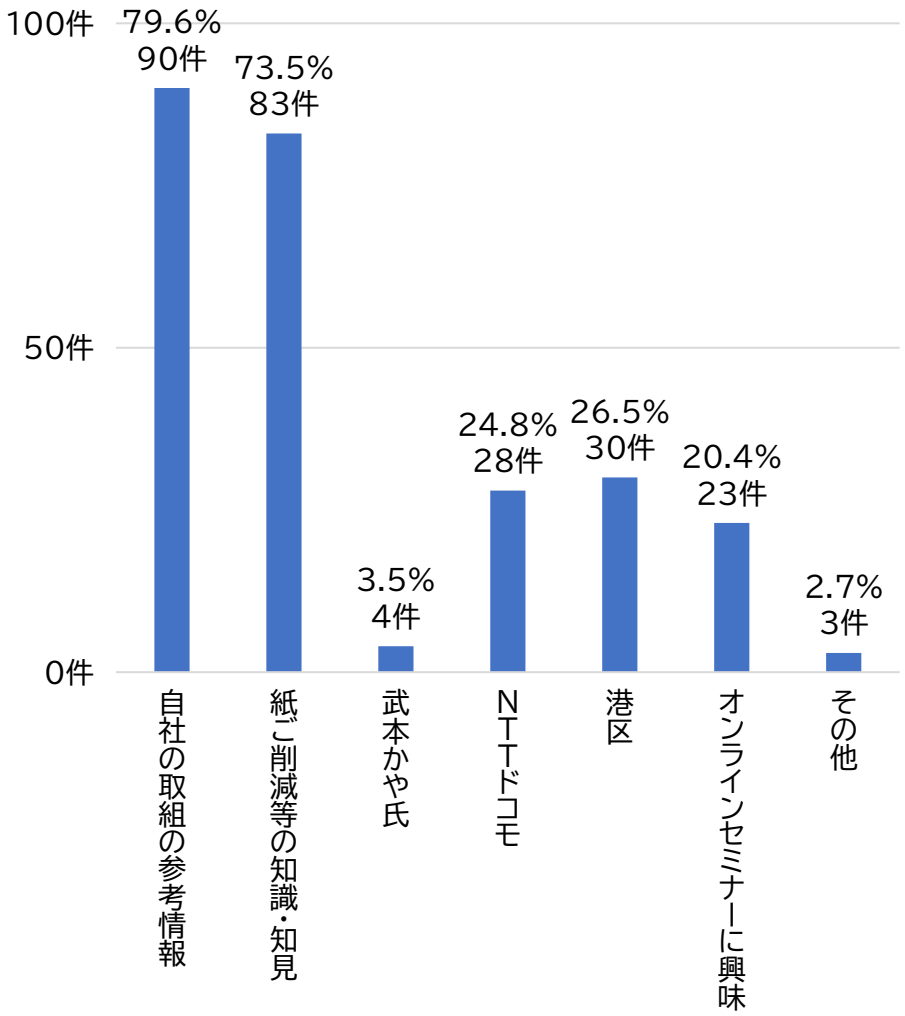


	武本氏		ドコモ(講演)		ドコモ(見学)		みなとリサ	
大変参考になった	57 件	50.4%	59 件	52.2%	72 件	63.7%	64 件	56.6%
参考になった	42 件	37.2%	38 件	33.6%	29 件	25.7%	37 件	32.7%
普通	12 件	10.6%	11 件	9.7%	9 件	8.0%	11 件	9.7%
あまり参考にならなかった	2 件	1.8%	5 件	4.4%	3 件	2.7%	0 件	0.0%
全く参考にならなかった	0 件	0.0%	0 件	0.0%	0 件	0.0%	1 件	0.9%

いずれのコンテンツも、「大変参考になった」が半数以上で、「参考になった」と合わせるといずれも 85%以上と非常に高い結果となった。

(3)セミナーに参加した理由

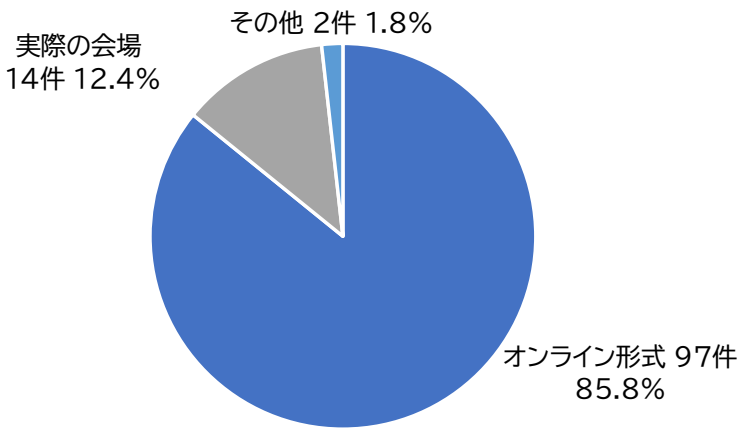
n=113



自社の取組の参考や紙ごみに関する知見を得るという目的が多く、いずれも 7 割以上という結果となった。また個別の項目については、優良事業者の取組事例や港区の報告が理由となっている参加者が一定数いた。

（4）次年度のセミナー開催形態について

n=113



次年度の開催形態は、今年度同様オンラインセミナー形式を希望する人が 85.8%となり、実際の会場でのセミナーを希望する人の約 8 倍となった。

（7）その他ご意見（自由記述）

【次年度以降のセミナーについて】

- ○ 今回の内容をより深堀した内容（例えば一般、ミックス、産廃物区分の必要性、混在時の困り具合、無駄、テナントへの働きかけの成功事例等）
- ○ 優良事業者の取組について知ることができて良かった。できれば優良事業者の現場に見に行くことができる機会を設けていただけるとありがたい。
- ○ 多数のテナントが入居されているビルで、テナントの協力を得てごみ減量やリサイクルに成功している事例があれば、取り上げていただければと存じます。
- ○ ごみ処理場の実態や収集運搬の実情なども教えていただけると参考になります。
- ○ 厨芥ゴミの資源化について、何か良い方法が確立されてないか知りたい。現状では効率が悪くまた、費用がかかる。箸、ビニル袋が混じっても処理できるものは無いのか。
- ○ 今後も取り組みの素晴らしい事例をお聞きしたい。
- ○ 飲食店舗の厨芥の手許分別の方法。特に水分除去について。
- ○ 従業員の意識を向上させる方法を取り上げて欲しいです。
- ○ 新型コロナウイルス対策をこれからも取り上げて欲しいです。SDGs を最も取り上げて下さい。
- ○ ミックスペーパーの具体的削減方法について教えていただきたいです。関心の低い方にどのように意識を変えてもらえるかなど。セミナー企画ありがとうございました。
- ○ 社員にどのように伝えれば意識改革をしてもらえるか。最終的には捨てる物（自分の手から離れるのも）なので考えが薄い。もっと企業向けの講演会などを発信して欲しい。

【オンラインセミナーについて】

- ○ オンライン形式でのセミナーでも効果があると思うが、字幕の精度を上げてもらえるとより一層分かりやすい。
- ○ オンライン形式のセミナーについては、今回初めて参加したが、自分の都合に合わせて視聴でき、良い試みだと感じた。もう少し頻繁（3、4 カ月に 1 回程度）に実施して頂けると関心が増え、ゴミ削減につながるのではないでしょうか。
- ○ 表彰された会社の見学については、ぜひ今後もオンラインで配信してほしいです。とても参考になります。港区のリサイクル工場の見学、実際に回収されたゴミがどのようにリサイクルされるか、などもなかなか見学にいけませんのでオンラインで動画を配信してほしいと思います。
- ○ 集合セミナーだと1名のみの受講になってしまい、伝達教育が必要になりますが、このような形式ですと複数の職員が受講可能となり、とてもありがたいです。
- ○ NTT ドコモ（施設見学会）の様な形式の簡易版で数多く流して欲しい。自社の分別方式の改良の参考にしたい。
- ○ web セミナーの素材をオープンにしていただけたらと思う。中小の企業では名ばかりの一名が形ばかりの担当者になりがちであり、セミナーで理解し会社に働きかけてもそう聞き入れてもらえるものではない。NTT の具体例の映像や他 PPT の資料などダウンロード可能にし、社内会議や経営者に見せる機会があれば説得力が増す。このセミナーの資料をもうちょっとオープンに出来ないでしょうか。

【区への要望について】

- ○ 区で紙ゴミ仕分棚やリサイクルボックスなどを制作、販売して欲しい。自分たちで用意するには手間や時間がかかる。こうした物があれば明日からでも直ちにリサイクル運動が社内で構築できる。
- ○ ゴミを出さない（排出基準を決めそれ以下の）企業は法人税等の減額等何かご褒美がある等の政策は出来ないものでしょうか。
- ○ 以前、お願いしていた港区リサイクル協同組合様より、古紙回収を断られてしまい、リサイクル率が不安定です。今後古紙の受け入れ機関や、回収業者等の高効率なリサイクルが可能かご教示頂けますと幸いです。
- ○ セミナー全体の資料（PDF）を配信・提供していただきたい。NTT ドコモの施設見学会の分別場面や、港区みなとリサイクル清掃事務所で取り上げられた分別のポップ（広告）があまり見えなかった。分別のポップ（広告）等は、セミナー資料とともに参考として配信していただけると幸いです。改めて認識を確認したり本日初めて知った知識もあったので参考になりました。ありがとうございました。
- ○ ビルのテナントに直接、ごみの減量、分別、ミックスペーパー増量、自己責任等を働きかけて欲しい。（お客様へお願いし難い為。）

【感想等】

- ○ SDGs、CSR などもっと詳しく勉強したいとおもいました。
- ○ 新型コロナウイルス感染症対策で、ごみ箱があってもなくても、利用者が置いていくゴミの処理について、注意していきたい。
- ○ 小規模ながら種類別にプラスチック製の BOX を購入し設置した。新聞紙等は金属製の数段の棚も用意し、区別して廃棄している。少しでも回収側の負担を減らすべく試みている。
- ○ 自社のリサイクルに関してしか意識しておりませんでしたが、改めて勉強になりました。今、自分が行うリサイクルが 世界問題解決の1つになると分かったので 上手く他の人も巻き込んでリサイクルをしていきたいと思います。ありがとうございました。
- ○ 基調講演で SDGs との関係が詳しく説明頂いたのが勉強となった。
- ○ 分別が徹底して行うのが当たり前となるには、企業の取組みが大切で、そこが難しいので徹底できないということだと思います。
- ○ ゴミ分別を徹底するには、企業全体の意識がなくては出来ない。講習会を受けた人がリーダーシップを発揮するのは難しい。でも、自分自身が出来ることから目を向けていきたいと思います。

3. 次年度業務内容への提案

(1)　開催形態について

アンケート結果から、次年度のセミナー開催形態について 85.8%が今年度と同様のオンラインセミナー形式を希望していることがわかった。

自由記述を見ると、オンラインセミナー形式について、

○　自分の都合に合わせて視聴することができ、良い試みだと感じた

○　表彰された会社の見学について今後もオンラインで配信してほしい

○　集合セミナーだと１名しか受講できず、伝達教育が必要になるが、オンラインセミナー形式だと複数職員が受講可能となりとてもありがたい。

などの意見が見られた。

以上を踏まえ、次年度以降のセミナーについてもオンラインセミナー形式での実施を検討するとともに、そのコンテンツもオンラインセミナー形式を踏まえたものを検討すべきである。オンラインセミナー形式を踏まえたコンテンツは以下のようなものが考えられる。

○　廃棄物管理責任者だけではなく一般社員等にもアプローチするような内容

○　事前収録した優良事業者の取組紹介中心の内容

(2)取り上げるテーマ

アンケート結果を見ると、参加理由として紙ごみ削減や紙リサイクルの知識・知見を得るためと回答した人が７割以上であり、紙類に関する興味関心は変わらず高いと思われる。

一方、アンケート調査の自由記述を見ると、テナントや社員にどのように伝えるかといった実務的な情報伝達や、厨芥ごみについてなども挙げられている。

また、SDGs など大きなテーマについても取り上げてほしい、勉強したいという意見もあった。

次年度以降は、上記のような意見を踏まえてテーマを検討することが求められる。

4. 参考資料

（1） 開催通知

令和３年１月 12 日

廃棄物管理責任者　様

港区　みなとリサイクル清掃事務所長　重富　敦

「事業者のためのごみ減量セミナー」オンライン開催のご案内

日頃より、港区の清掃行政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、この度、みなとリサイクル清掃事務所主催の「事業者のためのごみ減量セミナー」を**オンライン形式**にて開催いたします。このセミナーでは「ごみの減量・リサイクル」に活用できる知識や最新の状況などについて、専門家や港区ごみ減量優良事業者の方々から、効果的なごみ減量・リサイクル推進のヒントとなるお話を伺います。

受講される方は**一定期間ウェブ上に公開するセミナー動画（事前収録された映像）を視聴することができます。**

多くの皆様方の受講申込みをお待ちしております。

記

1　【セミナー動画公開期間】令和３年２月１日（月）～２月 14 日（日）

2　【開催内容】　別添の案内チラシをご参照ください

3　【参加費用】　無　料

4　【申込方法】　同封チラシに記載されているＱＲコードあるいはＵＲＬから、申込み専用ページにアクセスし、必要事項をご記入の上、お申し込みください。
お申し込みいただいた方には**セミナー動画公開直前（１月末）に、動画視聴用 URL をメールにて送付します。**

5　【申込受付期間】　令和３年１月 28 日（木）まで

6　【問合せ窓口】　株式会社ダイナックス都市環境研究所（事務局）
Tel：03-5402-5355　E-mail：rec@dynax-eco.com

主催：港区みなとリサイクル清掃事務所

事業者のための
ごみ減量セミナー
参加費無料

紙ごみの削減やリサイクルについて、
具体的な事例を交えながら、ごみ減量、リサイクル推進のための
仕組みづくりをサポートします！

2021年
2月1日(月)～14日(日)

WEB開催
Youtube等
申込者限定公開

プログラム

講演

- **ごみの減量に取り組むメリット 武本かや氏**

［プロフィール］　株式会社シューファルシ　代表取締役。業界団体や行政主催の講習会等で、廃棄物処理実務者向けに「実践的な廃棄物処理法と実務」や「顧客から信頼されるパートナーとしての関係づくり」、「社外、社内コミュニケーション力向上」や、一般市民向けの3Rセミナー等の講師を務めるほか、廃棄物処理業の業界団体での研修企画や実施も担当するなど廃棄物処理業界の人材育成、環境教育分野に尽力。

- **ごみ減量優良事業者の取組 株式会社NTTドコモ（NTTドコモ品川ビル）**
- **港区の取組 港区みなとリサイクル清掃事務所**

施設見学会

見学先　・NTTドコモ品川ビルの作業現場を動画でご覧いただけます！

【申込方法】（申込〆切 2021年1/29（金）まで）

http://www.dynax-eco.com/minato/2020/

①上記URLか、右のQRコードから申し込み専用ページにアクセスし、必要事項をご記入の上でお申し込みください。
②申し込み専用ページにアクセスできない方は、下記のごみ減量セミナー事務局の電話かメールよりお申し込みください。
③お申込み頂いた方のみ視聴できます。後日、お申込みいただいた方に動画配信用のURLをお送りいたします。

【申込み・問合せ先】ごみ減量セミナー事務局

㈱ダイナックス都市環境研究所内　担当：小池、北本、北坂　　03-5402-5355　rec@dynax-eco.com

（2） 講演資料

ごみの減量に取り組むことのメリット

㈱シューファルシ
代表取締役　武本　かや

株式会社シューファルシ

ごみ減量に取り組むメリット

- 処理費用を減らせる！
- 資源にすれば売れる！
- 企業価値UPにもなる！

株式会社シューファルシ

廃棄物の区分

廃棄物の区分の理解

一般廃棄物	産業廃棄物
・家庭ごみ ・事業系一般廃棄物	・廃掃法で定められた20品目 ・業種指定産業廃棄物7品目

↓

有価物　　廃棄物

株式会社シューファルシ

処理費用を減らす秘訣

ごみを減らす＝処分費用が減る

処分費用とは

量（kg）　×　単価（円）

株式会社シューファルシ

処理費用を減らす秘訣

ごみを出さない
↓
ごみにしない努力
↓
資源になるものはトコトン分別

株式会社シューファルシ

資源にすれば売れる！

中国の輸入規制の影響が今までの
資源リサイクルに多大な影響を及ぼす

株式会社シューファルシ

企業価値UPにもなる！話

今までは、ごみの削減・リサイクルの取り組みは
CSR（企業の社会的責任）

↓

これからは、ごみの削減・リサイクルの取り組みは
社会課題の解決に

株式会社シューファルシ

企業を取り巻く社会の変化

アクセンチュアによる統合報告書「エグゼクティブサマリー無駄を省に変える」より

株式会社シューファルシ

SDGsのゴールを意識することが企業価値を上げることに繋がる理由

- SDGsへの取り組みが経済的な企業価値の向上と考える投資家は年々増え続けています。
- 企業としてSDGsに積極的に取り組んでいくことは、地球規模のマーケットを取り込める可能性があることを示しています。
- 若者の環境や社会貢献活動及び企業のSDGsの取り組みへの関心度は高くなっています。

株式会社シューファルシ

企業価値UPにもなる！話

SDG s とは国連で採択された2030年までに達成する開発目標
17のゴールと169のターゲット

ごみの減量に取り組む

↓

株式会社シューファルシ

紙ごみを例に考えてみましょう

課題1　ごみを減らさないと埋立処分場がいっぱいになってしまう。
ごみを減らすことは、温室効果ガスの排出量の削減になる。
ごみを処分するのには税金が使われている。

課題2　リサイクルを進めないと、木材を大量に伐採することになる。
新たな木材から紙をつくる過程では水を使う。
木が少なくなったら、温室効果ガスの量も増える。

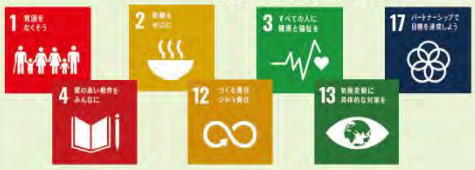
これらの課題を解決するために、
紙ごみをごみではなく分別をトコトンして
資源として循環させていく

株式会社シューファルシ

紙ごみのリサイクルとSDGs

課題1　ごみを減らさないと埋立処分場がいっぱいになってしまう。
ごみを減らすことは、温室効果ガスの排出量の削減になる。
ごみを処分するのには税金が使われている。

紙ごみを減らす＝紙ごみを出さない努力をする
（にしない）
使われる税金を削減



株式会社シューファルシ

紙ごみのリサイクルとSDGs

課題2　リサイクルを進めないと、木材を大量に伐採することになる。
紙をつくる過程では水を使う。
木が少なくなったら、温室効果ガスの量も増える。

分別することでリサイクルしやすくなるよう取り組む

株式会社シューファルシ

紙ごみを良質な資源に変えるために

出典：公益財団法人古紙再生促進センターwebサイト

株式会社シューファルシ

分別しやすい仕組みづくり

山形県産業物処理業者様アイ・タックルさんのブログより

写真と文字で分かりやすい！

注意書きもあるので
分別が徹底されます！

- 機密扱いの書類
- コピー用紙
- 新聞
- ダンボール
- 雑がみ

株式会社シューファルシ

機密文書の取り扱い

機密文書を細かく裁断してしまった場合、リサイクル回収をしてくれない場合があり、焼却処分することになります。

専門業者にお任せすることで、情報漏洩も防げてリサイクル率を上げることができます

株式会社シューファルシ

株式会社シューファルシ

数字で見る紙ごみリサイクル

出典：WWFホームページ

国民一人当たりの年間消費量

約201kg

世界平均は56.2kg

古紙の利用率

古紙の回収率

約60%

約80%

世界で回収率、利用率ともにトップクラス！

株式会社シューファルシ

数字で見る紙ごみリサイクル

海外からの木材チップの輸入

ベトナムやオーストラリア、南米などから

約1160万トン

約7割が輸入

日本国内で使われる紙の原料

約60%　約40%

株式会社シューファルシ

変化する社会で注目！のキーワード

強靭化

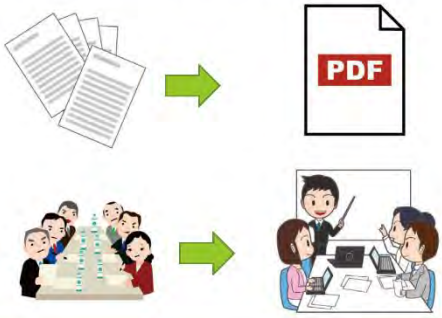
カーボンニュートラル

DX

（デジタルフォーメーション）

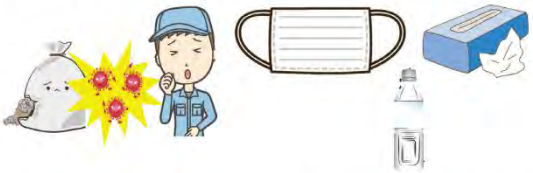
株式会社シューファルシ

紙ごみの削減とコロナ対策



株式会社シューファルシ

コロナ対策として



ごみを回収してくれる人にも
思いやりを

株式会社シューファルシ

ごみの減量を利益に変えるには

ごみ⇒資源という考え方に変える

リサイクルは様々な社会課題の解決に貢献！

社会課題の解決に貢献することは世界中での
当たり前の時代に！

株式会社シューファルシ

ご清聴ありがとうございました

株式会社シューファルシ

港区様セミナー資料

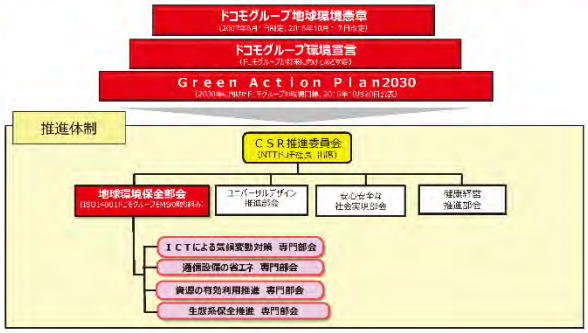
ＮＴＴドコモにおける
環境マネジメントシステムの取り組みについて

２０２０年１２月２２日

株式会社ＮＴＴドコモ
Ｃ　Ｓ　Ｒ　部

© 2020 NTT DOCOMO, INC. All Rights Reserved.

1.環境マネジメントシステムの推進体制



© 2020 NTT DOCOMO, INC. All Rights Reserved.

2.ドコモグループ地球環境憲章

■基本理念

私たちドコモグループは、地球環境問題を重要な経営課題と捉えています。モバイルICTを基軸としたサービスの開発や提供を通して、生活やビジネスの様々な場でイノベーションを起こし、お客さまとともに社会全体の環境保全に貢献します。また自らの事業活動における環境負荷を低減します。

■基本方針

◆環境に配慮した事業の実践

◆環境マネジメントの強化

◆環境コミュニケーションの推進

◆生物多様性の保全

© 2020 NTT DOCOMO, INC. All Rights Reserved.

3.ドコモグループ環境宣言

© 2020 NTT DOCOMO, INC. All Rights Reserved.

4.ドコモグループ組織人員数等

【ドコモグループ組織人員数等】

ドコモグループ　組織数	約400組織
ドコモグループ　人員数	約50,000人 ※協力社員、派遣社員を含む
ドコモグループ　エコスタッフ人数	約1,000人
ドコモグループ　入居ビル数	約140ビル ※賃貸ビルを含む

© 2020 NTT DOCOMO, INC. All Rights Reserved.

5-1.環境データの管理

ドコモグループの各組織における以下の項目を管理

・紙
・ごみ
・電気
・水

各組織のエコスタッフが毎月実績を入力している

© 2020 NTT DOCOMO, INC. All Rights Reserved.

5-2.環境データの管理

© 2020 NTT DOCOMO, INC. All Rights Reserved.

5-3.環境データの管理

© 2020 NTT DOCOMO, INC. All Rights Reserved.

6.ドコモ品川ビルの取り組み紹介

これらの環境に対する取り組みの一環としてドコモ品川ビルでのごみ分別等の具体的な内容についてご紹介をさせていただきます。

© 2020 NTT DOCOMO, INC. All Rights Reserved.

7.ドコモにおけるその他の環境への取り組み

ドコモにおけるその他の環境への取り組みについて、一例をご紹介いたします。

© 2020 NTT DOCOMO, INC. All Rights Reserved.

7-1.携帯電話の回収・リサイクルの推進

これまでに約1億1,523万台の携帯電話を回収

＊ 1998年から2019年度末までの実績

【ケータイリサイクルのPRステッカー】

© 2020 NTT DOCOMO, INC. All Rights Reserved.

7-2.グリーン基地局

環境にやさしく、災害に強いドコモの「グリーン基地局」

© 2020 NTT DOCOMO, INC. All Rights Reserved.

7-3.紙袋デザイン リニューアル

“プラスチックを一切使用しない”100%紙にリニューアル

© 2020 NTT DOCOMO, INC. All Rights Reserved.

8.最後に

ドコモグループでは、引き続き、ドコモグループ環境宣言に則り「人と社会と地球の未来のため、環境経営の最先端をめざす。」ことで、環境負荷低減に向けて取り組んで参ります。

© 2020 NTT DOCOMO, INC. All Rights Reserved.

いつか、あたりまえになることを。

NTT docomo

© 2020 NTT DOCOMO, INC. All Rights Reserved.

令和2年度

事業者のための ごみ減量セミナー

【事業者の責務と区の施策】

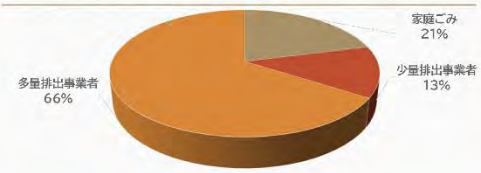
リュー助

みなとリサイクル清掃事務所

エコル

1 港区の地域特性

発生源別ごみ量（港区）



2 事業者の責務

- 【廃棄物の処理及び清掃に関する法律】

第3条　事業者は、その事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理しなければならない。

2 事業者の責務

- 【港区廃棄物の処理及び再利用に関する条例】

第9条　事業者は、廃棄物の発生を抑制し、再利用を促進する等により、廃棄物の減量を図らなければならない。

2　事業者は、その事業系廃棄物を自らの責任において適正に処理しなければならない。

3　（中略）

4　事業者は、廃棄物の減量及び適正な処理の確保に関し区の施策に協力しなければならない。

2 事業者の責務

- 令和元（2019）年度に実施した基礎調査において、「『自己処理責任』という言葉を知らなかった。」と回答した事業者が、61.6%に上った。

⇒自己処理責任に基づいた、事業者による主体的なごみの適正処理を徹底するとともに、事業者の意識の向上や行動が求められる。

3 港区の取組

港区一般廃棄物処理基本計画（第3次）

【基本理念】

『環境に配慮した持続可能な社会を目指して、循環型社会・低炭素社会形成へ総合的な取組を、区民・事業者とともに推進します。』

3 港区の取組

SDGsの17の目標（ゴール）　出典：国際連合広報センターWEBサイト

3 港区の取組

港区一般廃棄物処理基本計画（第3次）【基本方針2】

事業者の社会的責任に基づく廃棄物の発生抑制と資源循環を促進する。

⇒事業者のごみの減量とリサイクルの推進に向けて、これまで行ってきた取組みの強化に加え、より具体的、実践的な取組みを実施。

3 港区の取組

【現在の具体的施策】

- 廃棄物管理責任者の選任や再利用計画書提出の義務、立入調査による排出指導（事業用延床面積1,000㎡以上）
- 廃棄物管理責任者講習会の実施（事業用延床面積3,000㎡以上）
- ごみ減量セミナーの実施、港区ごみ減量優良事業者等表彰の開催
- 一般廃棄物管理票提出（マニフェスト）の義務（1日平均100kg以上）

3 港区の取組

【今後の取組】

- 大規模建築物の所有者の義務の徹底
- 大規模開発におけるごみの減量や資源の再利用の促進
- テナントの主体的な取り組みの促進　等

自己処理責任に基づいたごみ排出意識の浸透と再利用率の低いミックスペーパーや厨芥類（生ごみ）の発生抑制、再利用の促進に向けた取組の強化

3 港区の取組

【ごみの減量に向けて】

- 再利用計画書上の再利用率（令和元年度実績値）

【紙類】 60.0%
【厨芥類】14.1%

再利用を促進し、
再利用率を向上させ、
廃棄量を減らします。

3 港区の取組

【食品リサイクルの推進】

- 企業版フードドライブの展開や事業者が排出する食品廃棄物のリサイクル（飼料化、肥料化、ガス化等）を支援するため、品目や事業者の規模等に応じて、事業者のニーズに合致したリサイクル事業者を紹介する体制を整備します。

4 事業者の役割

- ごみを出さないビジネススタイルの変革
- 資源の分別・再利用

「排出者責任」の考え方に基づき、自らの責任による適正な処理

大きな広がりを見せるSDGs（持続可能な開発目標）

持続的な企業価値の向上

SDGsを経営の中に取り込む動き

事業者による環境に配慮した取組み

令和2年度

事業者のための ごみ減量セミナー

【実務編】

みなとリサイクル清掃事務所

実務編

① 港区のごみの現状と課題

② 資源を再利用するための取組

③ 港区からのお願い

① 港区の現状と課題

・港区の事業者数

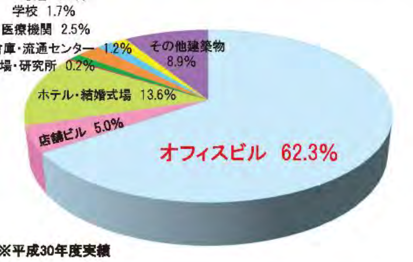
39,375社

（平成26年経済センサス基礎調査）
都心4区の中で最多

昼間人口約90万人
（夜間人口約20万人の4倍以上）
⇒事業者による活発な都市活動

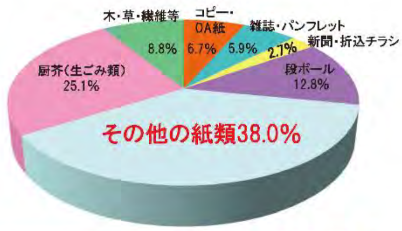
港区全体のごみ量の約8割が事業系ごみ！

建築物用途別発生量構成比（3,000㎡以上）



※平成30年度実績

事業系大規模建築物の種類別発生量構成比（一般廃棄物）



※平成30年度総排出量：116,689t ⇒ 約7割が紙類！

※平成30年度実績

資源・ごみの種類	平成29年度				平成30年度			
	発生量(t)	発生量増減(t)	再利用量(t)	再利用率(%)	発生量(t)	発生量増減(t)	再利用量(t)	再利用率(%)
コピー・OA紙	8,298	-308	8,068	97.2%	7,868	-430	7,698	97.8%
雑誌・パンフレット	7,061	-526	7,016	99.4%	6,867	-194	6,852	99.8%
新聞・折込チラシ	3,521	-373	3,496	99.3%	3,126	-395	3,119	99.8%
段ボール	14,958	-199	14,921	99.8%	14,967	9	14,931	99.8%
その他の紙類	46,436	1,113	19,403	41.8%	44,332	-2,104	17,425	39.3%
厨芥（生ごみ類）	29,060	244	5,293	18.2%	29,303	243	5,675	19.4%
その他の可燃物	10,359	-33	4,374	42.2%	10,225	-134	4,357	42.6%
一般廃棄物計	119,692	-82	62,571	52.3%	116,689	-3,003	60,055	51.5%

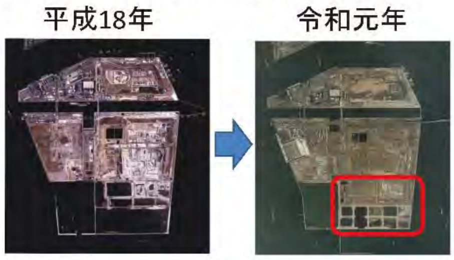
古紙類のリサイクル率⇒ほぼ100%

その他紙類のリサイクル率⇒40%程度

その他紙類（ミックスペーパーと焼却ごみの混合）の分別が不十分だと・・・

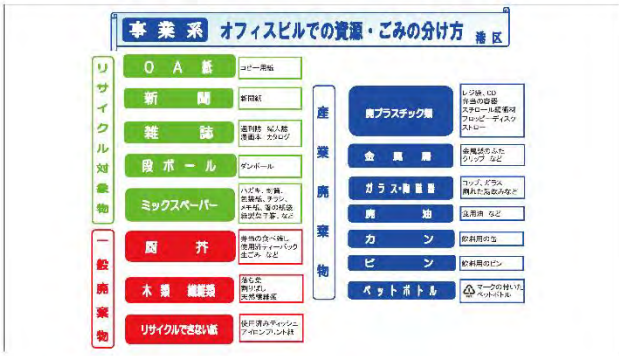
ミックスペーパーが可燃ごみに！

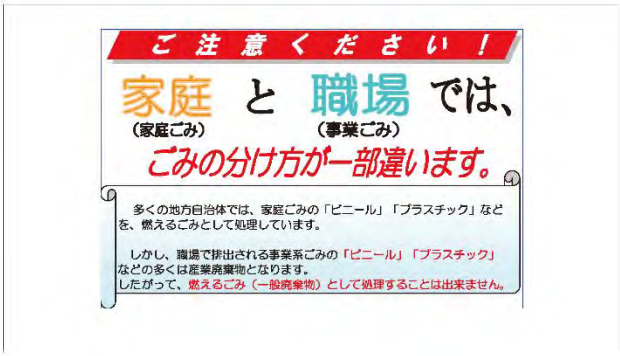
東京23区のごみの最終処分場
（埋め立て処分場）の様子



② 資源を再利用するための取組

ミックスペーパーとは・・・


事業系 オフィスビルでの資源・ごみの分け方 港区
リサイクル対象物
一般廃棄物
産業廃棄物
ＯＡ紙
新聞
雑誌
段ボール
ミックスペーパー
厨芥
木屑 繊維屑
リサイクルできない紙
廃プラスチック類
金属屑
ガラス・陶磁器屑
廃油
カン
ビン
ペットボトル

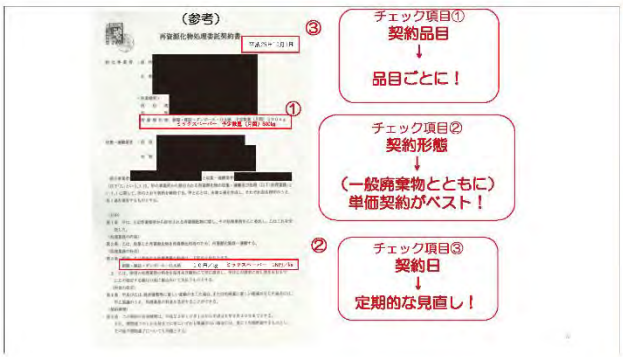

ご注意ください！
家庭 と 職場 では、
(家庭ごみ) (事業ごみ)
ごみの分け方が一部違います。
多くの地方自治体では、家庭ごみの「ビニール」「プラスチック」などを、燃えるごみとして処理しています。
しかし、職場で排出される事業系ごみの「ビニール」「プラスチック」などの多くは産業廃棄物となります。
したがって、燃えるごみ（一般廃棄物）として処理することは出来ません。

＜容器の設置例＞

共用部
＜容器設置例＞
ミックスペーパー容器
可燃ごみ容器
燃えるゴミ
汚れがひどい紙類
布類・ひも類
割り箸

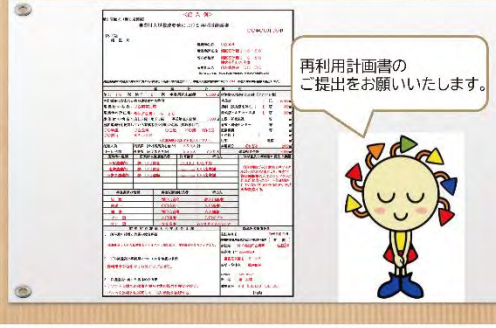
廃棄物保管場所

テナント等に対する協力依頼
①分別排出の依頼・周知
(チラシ)
(口頭指導)
未分別！
②排出状況の確認
テナントはお客様だから強く言いにくいな‥


（参考）
チェック項目①
契約品目
↓
品目ごとに！
チェック項目②
契約形態
↓
（一般廃棄物とともに）
単価契約がベスト！
チェック項目③
契約日
↓
定期的な見直し！

資源を再利用するための取組に
必要なことは‥‥
手元分別の徹底
品目ごとの契約締結

③ 港区からのお願い



ご清聴ありがとうございました。

令和2年度事業者のためのごみ減量セミナー等支援業務　報告書

令和3年3月

株式会社ダイナックス都市環境研究所
〒105-0003 東京都港区西新橋3-15-12　GG HOUSE5階
TEL 03-5402-5355　FAX 03-5402-5350